

## オプジーボの動向

# オプジーオ がん腫別推定売上推移



2024年度結果



2025年度修正見込み

## ■胃がん

競合の浸食を最小限に留め、  
新規処方シェアNo.1堅持

## ■非小細胞肺がん

## ■食道がん

## ■腎細胞がん

## ■尿路上皮がん

## ■その他

注力するがん腫  
評価獲得で再成長

Source: 外部データ及び自社データより推計

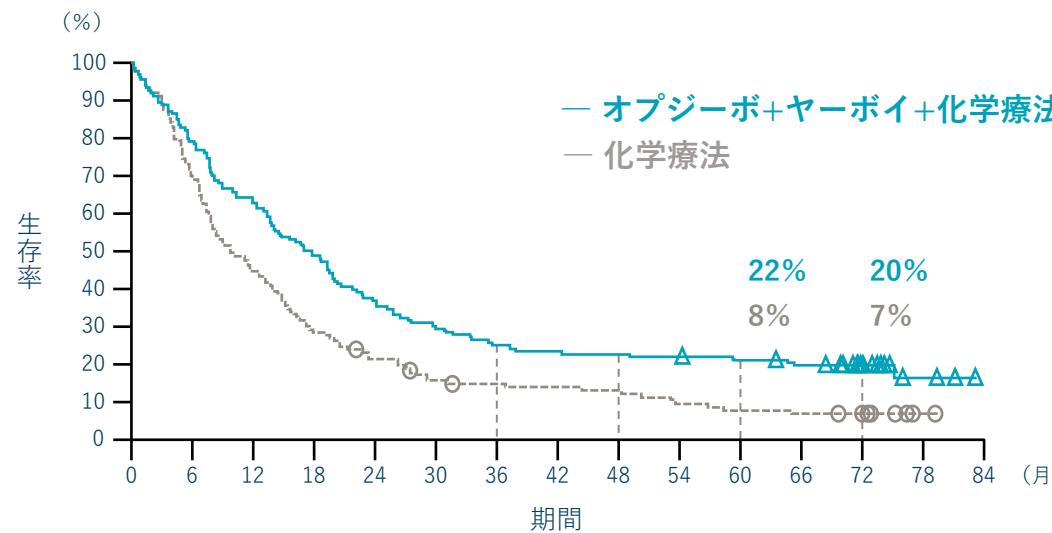
### 主ながん腫の進捗状況（2025年4-12月進捗）

- 胃がん : 競合品による影響を受けたが修正計画通りの進捗
- 非小細胞肺がん : PD-L1陰性セグメントにおける新規処方シェアは伸長しているものの、計画には届いておらず、さらなる拡大に向け活動を強化
- 食道がん : 競合品が新たに参入したが新規処方シェアは上昇しており計画通り進捗
- 肝細胞がん・大腸がん : 新規処方シェアは堅調に推移

# 非小細胞肺がん1次治療（PD-L1陰性）における治療成績

ONO

CheckMate 9LA試験



オプジー+ヤー+化療法

5年生存率

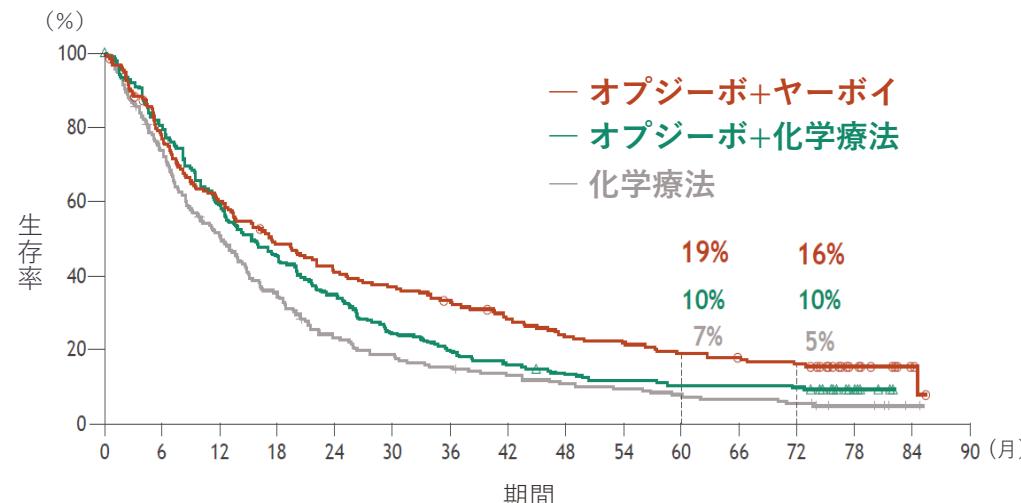
22%

6年生存率

20%

Carbone DP, et al. ESMO Open. 2025 Jun;10(6):105123

CheckMate 227試験



オプジー+ヤー

5年生存率

19%

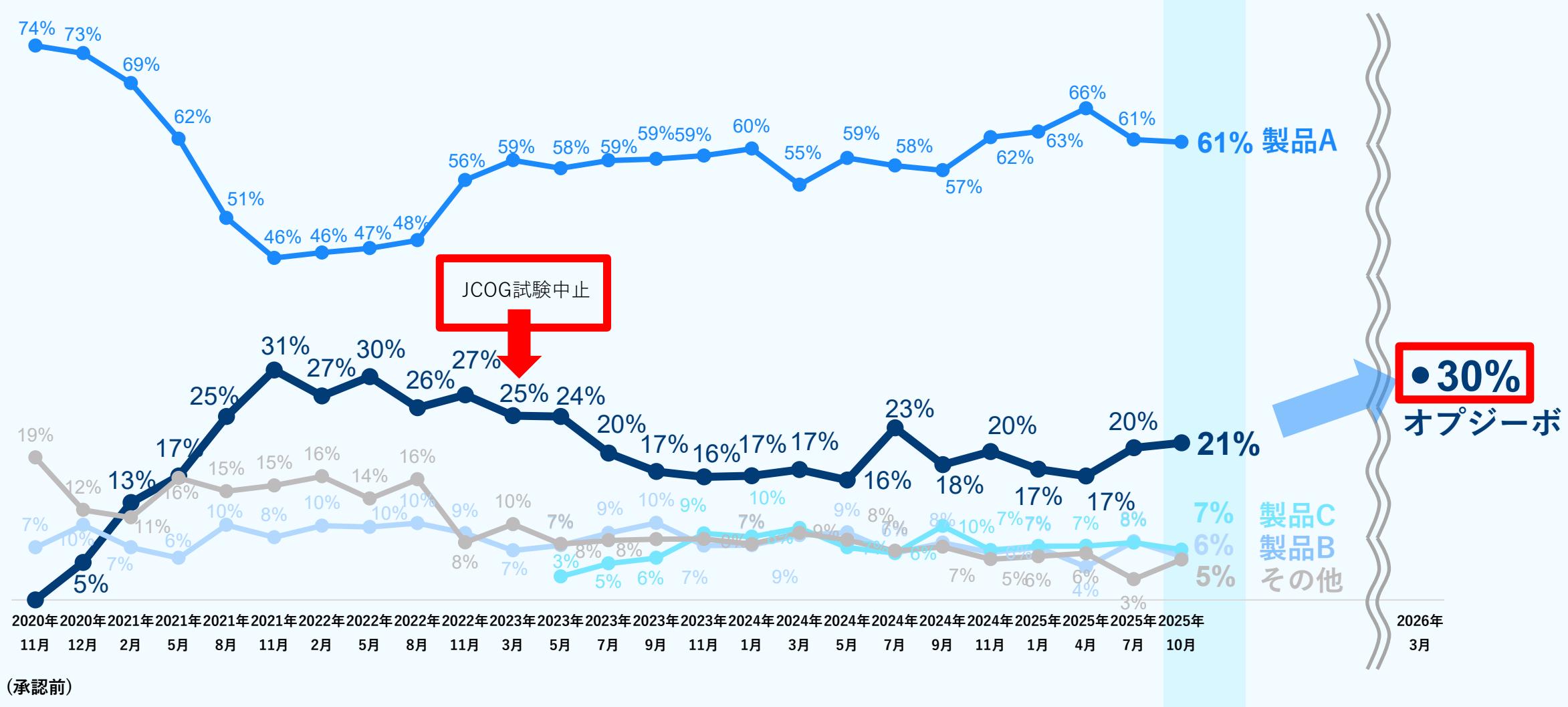
6年生存率

16%

Suresh S. Ramalingam, et al. WCLC2023#OA14.03

# 非小細胞肺癌がん1次治療における新規処方シェア※の推移

ONO



(承認前)

※新規処方シェア 直近1ヵ月に1L治療を開始した患者シェア (Driver Mutationを除く)

Source: プライマリー調査結果  
(2020年11月～2025年10月調査 n=167～245)